



2019年10月31日

各 位

会 社 名 日本精蠟株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長  
 社長執行役員 安藤 司  
 (コード番号 5010 東証第2部)  
 問 合 せ 先 取締役  
 常務執行役員総務部長 常慶直宏  
 (TEL 03-3538-3061)

通期連結業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩に関するお知らせ

2019年2月14日に公表いたしました2019年12月期通期連結業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当期の通期連結業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当り 当期純利益
前回発表予想 (A)	27,500	400	250	200	10円12銭
今回修正予想 (B)	27,500	△610	△710	△760	△38円48銭
増減額 (B-A)	—	△1,010	△960	△960	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期)	29,599	194	76	83	4円55銭

2. 修正理由

① 2019年12月期通期連結業績予想について

原油相場は、年初の50ドル/バレル台前半から4月には70ドル/バレルに上昇しましたが、6月以降は60ドル/バレル前後で推移しました。このような状況の中、期首の高値在庫や期中に仕入れた高価格原料の影響により製造コストが上昇しました。また、物流費の上昇により国内での販売コストが増加しました。輸出販売においては、米中貿易摩擦等による中国国内需要の減退を受けて、海外市場におけるワックス市況価格が軟化しワックス輸出での採算が大きく悪化しました。下期以降は、原料費の価格ヘッジを実施していますが、第3四半期までの損失を挽回することが困難と判断し、通期連結業績予想を修正するものであります。

② 繰延税金資産の取崩について

上記の通期連結業績予想の修正を踏まえ、当社における繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、保守主義の原則に基づき、2019年12月期第3四半期決算にお

いて繰延税金資産を 278 百万円取崩し、同額を法人税等調整額に計上しました。

③ 配当予想について

前回公表の期末配当予想の 1 株につき 5 円につきましては、現時点では変更の予定はありません。

\*上記の通期連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の原油相場、為替相場の動向等さまざまな要因によって大きく異なる場合があります。

以上